

第40期・政策制度研修会

平成24年度 自動車関係諸税の抜本改革に向けた活動について



11月19日(土)、SUN会館にて第40期政策制度研修会が開催されました。加盟労組の三役を中心に総勢103名が参加して開催された今回の研修会は、自動車総連の渡部部長を講師としてお招きして、自動車総連の政策制度の重点取り組みである『自動車関係諸税の抜本改革に向けた活動』について説明を受けました。

- ①自動車ユーザーは、自動車の取得・保有・走行の全てに9種類もの税が課せられている。
- ②消費税導入後、多くの消費課税が廃止されたにも関わらず、自動車取得税が課税されるという二重課税となっている。
- ③平成21年度から一般財源化されて課税根拠を喪失したにも関わらず、いまだに自動車取得税・自動車重量税・燃料諸税を支払い続けている。



自動車総連 渡部部長

などを学び、自動車産業の健全発展、雇用維持・創出が日本の復興・再生につながることから、自動車関係諸税の抜本改革が今こそ必要であることについて理解を深めました。そして、自動車総連が総力をあげて実施している政府や国会議員等に向けての提言や要請活動について現況を報告してもらいました。

スズキ労連としても自動車総連と一体となり、地域の声として関係のある国会議員へ要請活動を行っています。



徳光顧問



田口顧問

浜松市議会議員の徳光顧問からは、市政報告として市議会9月定例会での質疑報告をしていただきました。また、静岡県議会議員の田口顧問からは、地方政治の課題をテーマに、12月定例会の一般質問で予定している「行財政改革」について県の果たすべき役割や、静岡県の県債残高の推移、個人県民税収比率などを織り交ぜながら、丁寧に分かりやすく説明していただきました。

自動車総連の政策・制度課題への取り組み

私たち労働者が安心して暮らし働いていくためには、賃金・労働時間といった労働条件の向上はもちろんのこと、公平・公正な税制や社会保障制度、雇用と物価の安定など、企業や産業だけでは解決できない社会全体のしくみを正していかなければいけません。

こうした政策・制度課題の解決に向けて、自動車総連は1989年より17回にわたる政策討論集会の開催などにより、取り巻く環境の組織内への理解促進を図りつつ、自動車総連として掲げる政策について議論してきました。

現在、自動車総連が主体的に取り組むべき政策分野として10分野を掲げていますが、その中でも特に「雇用・労働政策」「税制改革」「福祉・社会保障政策」を最重点分野として定め重点的な取り組みを行うとともに、自動車産業に従事する者だから提言できる「自動車産業政策」についても精力的に取り組むを進めています。

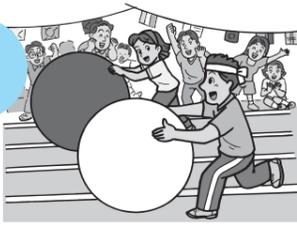


大分類	自動車総連「10」の政策項目
最重点分野 (一般政策)	1.雇用・労働政策
	2.税制改革 一般税制(自動車関係諸税以外) 自動車関係諸税
	3.福祉・社会保障政策
自動車産業政策	4.道路・交通政策
	5.環境・エネルギー政策
	6.総合産業政策
その他の政策	7.経済政策
	8.行・財政政策
	9.中小企業政策
	10.対外政策

ナイスハートふれあいのスポーツ広場

菊川大会

スズキ労連から
44名が参加



11月5日(土)、自動車総連静岡地協のナイスハートふれあいのスポーツ広場 菊川大会が開催されました。「ナイスハートふれあいのスポーツ広場」は自動車総連の20周年記念事業として、平成4年から財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金の協力を得て全国各地で開催されており、スポーツを通じてハンディキャップをもった方々と自動車産業に従事する組合員とがふれあいを深め、そうした中から「自立の心と思いやりの心」を育むことを目的としています。この活動は毎年7月にご協力いただいている福祉カンパ金からナイスハート基金へ支援を行い、各県に設置されている自動車総連地方協議会のみなさんが主体となり国際障害者年記念ナイスハート基金と連携を取りながら、運営されています。今年も全国30ヶ所以上で開催されており、スズキ労連は静岡県内での開催のお手伝いをさせていただいております。

地域のハンディキャップを持つ方々、保護者、先生をご招待。恒例のナイスチーム・ハートチームに分かれた「ロープ送り」、「風船バレー」、「大玉ころがし」の競技に続き、午後からは司会(タレント)の落語&大道芸を楽しんだあとは、フライングディスクで体を動かして参加者全員が一緒に汗を流し、すばらしいふれあいの場を作ることができました。

実行委員も交流を深め、温かい思いやりの心に癒されるこのスポーツ広場。来年はあなたもぜひ参加してみてください。



44名のスズキ労連実行委員・競技員の皆さん、お疲れ様でした。

財団法人国際障害者年記念 ナイスハート基金

ナイスハート基金は、国際障害者年の趣旨を踏まえ、次代を担う青少年の健全な育成と障がい者とのふれあいを目指して諸事業を展開しています。なかでも「障がい」をもった人々に対する偏見、差別の意識をもつのではなく人間として、共に遊び、共に学び、共に働き、共に助け合える社会、即ち「完全参加と平等」の社会の実現に向けてナイスハートの輪を大きくする努力をしています。国内での事業の柱であります「ふれあいのスポーツ広場」「ふれあいの音楽広場」は、着実にその規模を拡大し、全国各地に定着し、積み上げて参りました。その他、ニュースレターを発行するなど、様々な活動を行い、国内外を通して、ナイスハート基金の輪を広げ様々な出会いをしていきたいと願っています。

参加者：総勢 433名
障がい児・者… 148名(10施設)
付添職員父母… 57名
来賓・タレント… 23名
組合… 205名



ロープ送り



風船バレー



大玉ころがし



フライングディスク

2011 自動車総連福祉カンパ 車両寄贈実施しました。

「手をつなぐ育成会」

※知的障がい者支援施設
(宮崎県日向市北町2-55-1)
●寄贈日:11月1日(火)
●寄贈車両:エブリイJOIN
●推薦者:スズキ販自 販自宮崎支部



施設では、知的発達障がい者の生活支援をしており、特に活動の中心を公的機関の支援が来ていない土日の生活支援(余暇のサポート)を行っています。現在、施設への送迎には家族の方にしてもらっているが、家族が送迎できないケースでは施設に通うことができず、また、自立支援の一環として行っている古紙回収活動も思うように出来ずに困っているということで、送迎も出来て荷物も積める軽1BOXタイプのエブリイJOINを寄贈しました。

福祉カンパにご協力ありがとうございました。来年も引き続きよろしく願いいたします。

「サンサンいわた 竜洋あゆみ作業所」

※知的障がい者支援施設
(静岡県磐田市川袋700-2)
●寄贈日:12月1日(木)
●寄贈車両:ワゴンR車椅子移動車
●推薦者:スズキ労組磐田支部



こちらの施設では、ハンディキャップを持つ方々に働く場を提供し、小規模作業所で就労作業をすることによって社会参加及び自立の促進を図っています。活動をする上で、施設には車椅子対応の福祉車両がないために、施設を利用されるみなさんにとって、作業活動・地域交流活動にどうしても制限がありました。施設利用者の就労意欲向上や活動範囲を広め、更に地域への定着を図ることがするために車椅子対応のワゴンRを寄贈しました。

ご協力ありがとうございました!!

特定非営利活動法人(NPO法人) 交通遺児等を支援する会

衣服・陶器・玩具など780点もの物品提供をいただきました。

10月30日(日)、「新宿西口エステック広場」にて、交通遺児等を支援する会の第8回チャリティバザーが開催され、約142万円の収益となりました。この収益金は全国の交通遺児家庭の子供たちへの支援として活用されます。バザー用品の提供にご協力いただき感謝申し上げます。来年もスズキ労連の福祉活動の一環として、継続して取り組んでいきますのでご協力をよろしくお願いいたします。

